



# はっけんたより #1

芽室町の魅力、強み、売りを発見する芽室魅力発見隊の活動報告

2020.9.2

ありたい姿  
ビジョンマップ  
をつくる！

芽室魅力発見隊の今回の活動は 4 回のワークショップで芽室のありたい姿、将来像のビジョンマップづくりに向け参加者で対話を重ねています。このビジョンマップができると芽室のありたい姿は見える化(可視化)され、そのために必要なステップも見えてきます。ご期待ください！

いつでも  
参加者  
募集中  
↓↓↓



8月22日ワークショップのキーワード

## エモい、ムーンショット、バックキャスティング

8月22日(土)、芽室魅力発見隊活動の第1歩である第1回ワークショップが開催されました。この日は町民の方7人と高校生1人、役場職員7人、地域おこし協力隊員5人の20人が参加して開催されました。

町の魅力発見しましょう！とのうたい文句ですが、よくある付せんを貼っていく手法ではなく、町の魅力を商品に見立てて「ブランディング」という視点から「地域資源の洗い出し」「協力してもらえそうな仲間集め」「月別歳時記作り」などそれぞれの「思い」を出し合ってワークショップを行いました。



ポイント

今回は3チームに分かれてワークショップをし、各チームで名前を付けてもらいました。チームフロンティア・チーム税収・チーム溢れる。こちらも個性満載のチーム名です。

### オンライン、オフライン混合での開催

今回の講師は地域ブランディングの師匠と言われる山本聖氏(一社地球MD代表理事)、ファシリテーターは地域プロデューサーの中村真也さん(一社北海道プロデュース代表理事)。山本氏は東京からのオンライン指導、中村氏は現地進行という新たなハイブリット形式での開催となりました。



←山本氏(本人のフェイスブックから借用)

↓中村氏



### キーワード連発！

山本氏からは「これからは、地域をブランディングしていく成功のポイントとしてエモい！エモーショナル＝情緒がキーワードになる」と話されました。これからはモノが持つ機能だけではなく、感情や思いが備わっていることが重要ということでした。

さらに、ブランディングに必要な基本的な考えとしては「ありたい姿・あるべき姿」となるゴールを先に設定し、そこから現在の間は何をすべきか考えていくというバックキャスティングという思考法も教わりました。このバックキャスティングと同義語ムーンショットも教えていただきました。かつてのアメリカ大統領JFケネディが「10年以内に人類が月面に行き、無事に戻って来る」という壮大なゴールを設定し、そのゴールに向かってしっかりステップを積み重ねてきたというものです。

### 次回は



次回は、今回の「地域資源の洗い出し」「協力してもらえそうな仲間集め」「月別歳時記作り」でできた資料を基に、もう一歩進めた第2ステップ「地域の棚卸」「コネクティングマップ」「月別産業」作りに取りかかります。